

9月10日、予定より2週間遅れて漸くマレーシアについた。クアラルンプール空港からモノレールを乗り継ぎ大学へと向かい諸々の手続きを済ませ、私が最初に始めたことは「家探し」だった。

大学から斡旋された寮（BATC）は大学敷地内にあり、教室まで徒歩1分のこれ以上ない好立地。内装はまるでホテルのようで、日本にいた頃より余程良い住環境だった。

しかしながらその家賃は月1200RM。（RM=リンギット。1RM≒30円。）相場は300～400RMと聞いていたので予算的に住み続けられない。（その上ネットも繋がらなかった・・・。）

現地学生の住んでいる学生寮（シングルで480RM。彼らは基本シェアルームをしているのでこれより安い）を紹介してもらってもそこではデング熱が流行しており、毎月患者が数人ほど出ていると聞き、断念。以上の経緯より週末を利用して家探しをする事にしたのだった。

現地学生の伝を辿り、紹介してもらったのはMJIITより徒歩と電車で小一時間程行った所にあるbangsarという住宅街のアパートだった。

見た目は普通の二階建ての一軒家。エアコン付きの相部屋かエアコン無しの一室を借りる事が出来、家賃は部屋ごとに決められている。（私は一室を借りることにした。）料金体系は日本のアパート、形としてはシェアハウスと言ったところだ。大家さんはマレー系中国人の夫妻でハウスメイトは皆マレーシアの現地学生。当然日本人はいない。英語、マレー語、中国語、ヒンディー語が入り混じる非常に賑やかな家で、紹介された大学寮より余程ワクワクする。

気になる家賃は交通費含めて月600RM。部屋も清潔で当然ネットも繋がる。大学からは遠くなったが文句なし。一週間試しに友達の部屋を間借りさせてもらい引越しを決めることにした。

無事新居も見つけ、いよいよ留学生活がスタート。わずか5ヶ月間の留学だが、何より充実した5ヶ月にしていきたい。



小倉